

2023年度上半期報告 説明資料

相互会社としての使命	P1	資産運用の状況(富国生命単体)	P8
経営の差別化の歴史	P2	基礎利益、有価証券・不動産の含み損益の状況	P9
100周年を迎えて	P3	外貨建公社債(ヘッジ付外債・オープン外債)運用の状況	P10
2023年度上半期報告のポイント	P4	健全性の状況	P11
保険業績の状況(2社合算)	P5 ~ P6	オンバランスの自己資本強化と統合的リスク管理の推進	P12
保険料等収入、金融機関窓販の状況	P7	【ご参考】主要業績(2社合算、富国生命、フコクしんらい生命)	P13

富国生命保険相互会社

2023年11月21日



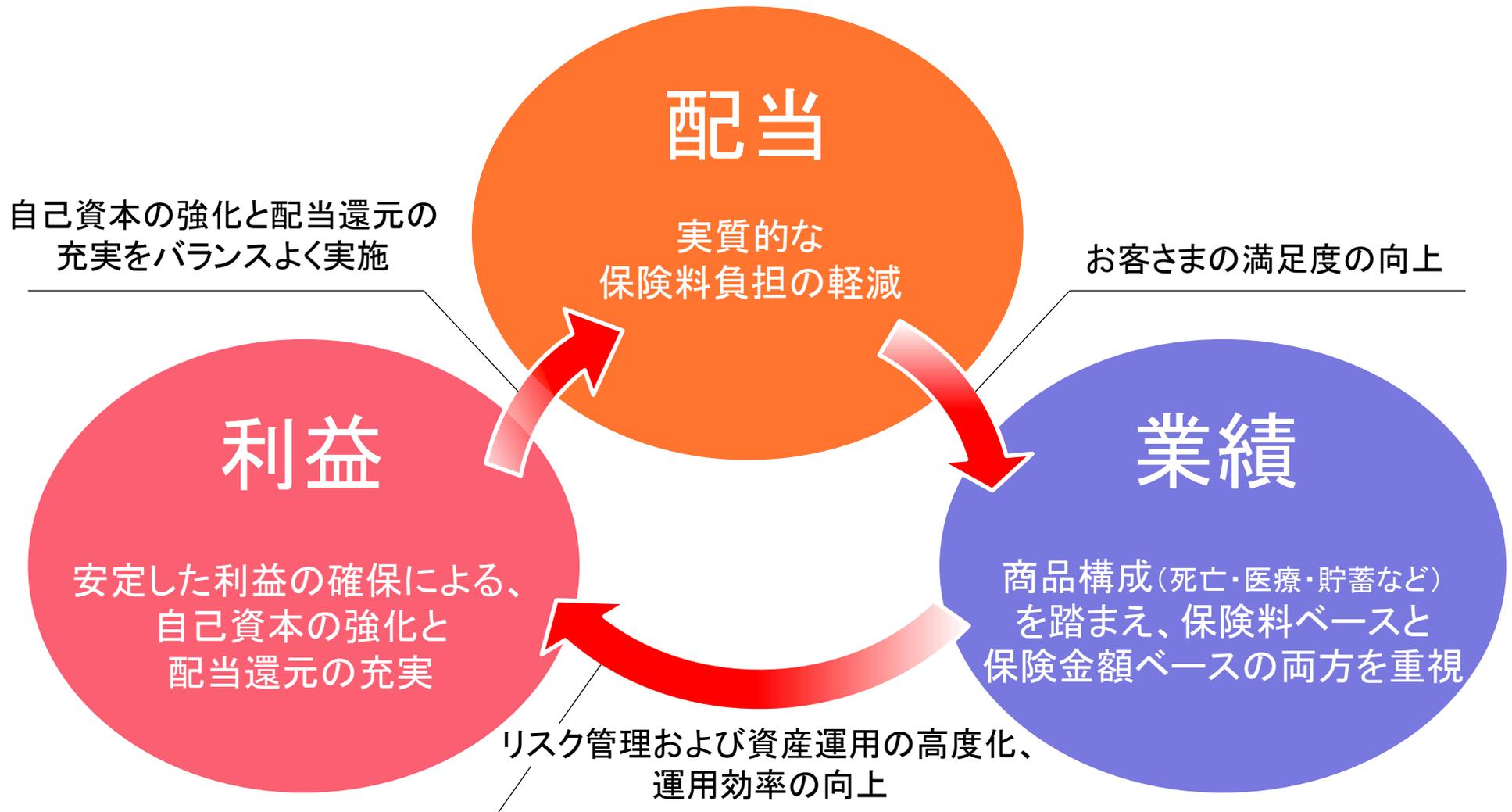
人と人の間に

フコク生命

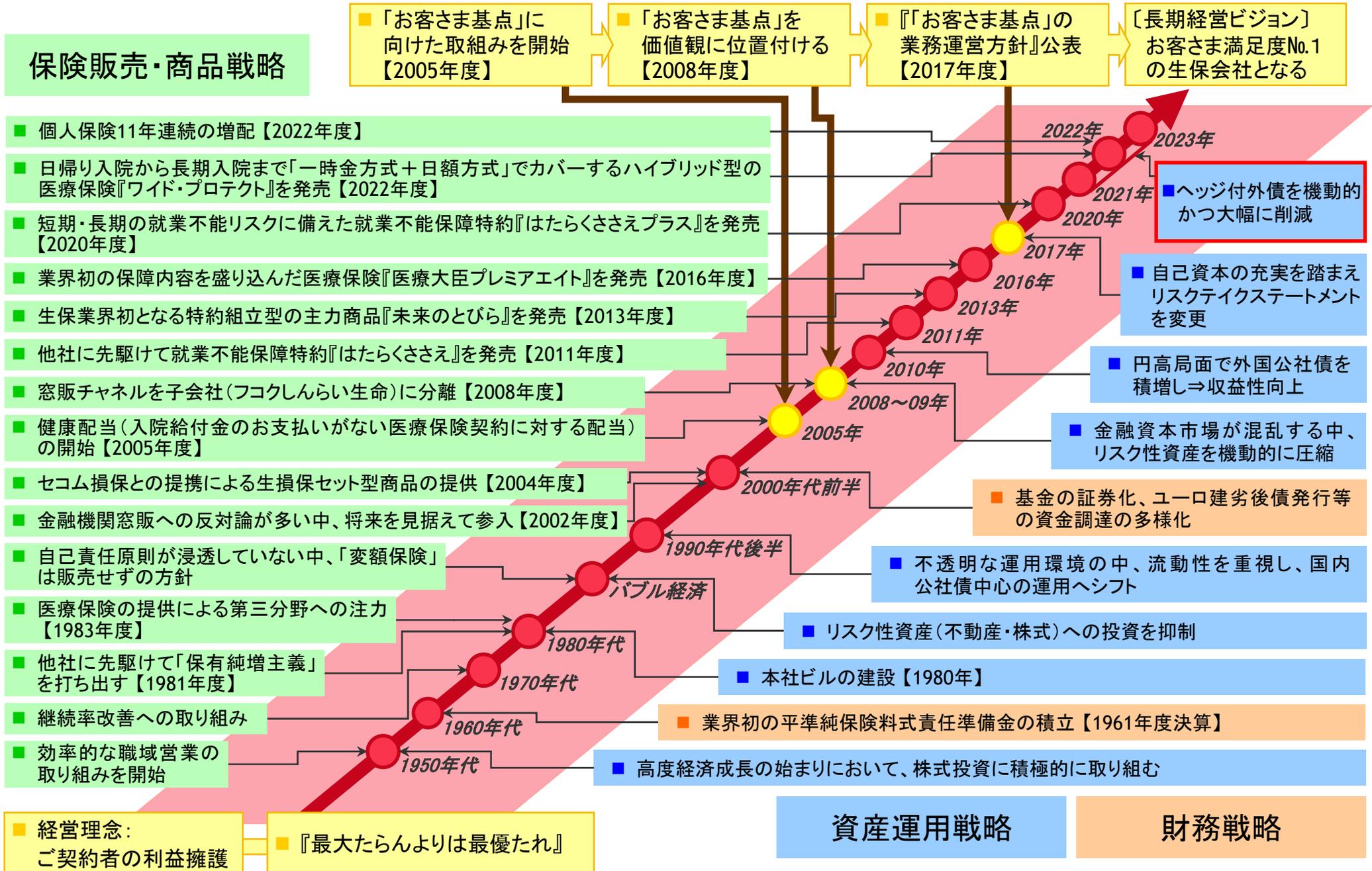
THE MUTUAL

相互会社としての使命

安定した利益を確保し、配当還元の充実を通じてご契約者の実質的な保険料負担の軽減を図ることが相互会社としての使命であり、保険会社としていかなる時にも保険金等を確実にお支払いすることが最も重要な責務であると考え、実践している



経営の差別化の歴史



100周年を迎えて



THE MUTUAL Art for children

子どもたちと社会がつながるお手伝い。
おやさいクレヨンを製作し、全62支社で
10万個以上を保育園等に寄贈



FIND THE MUTUAL

全国の地域に根ざしたつながりや
支えあいなど身近な「THE MUTUAL」
を発信



人と人の間に フコク生命

THE MUTUAL



シネマバード

“同じ空間で感動を共有する大切さを
伝えたい”という想いから生まれた移動
映画館プロジェクト

グリーンリボン ランニングフェスティバル

移植医療を受けた方や障がいをお
持ちの方と、走る喜びを分かち合う
ランニングフェスティバル



詳細は100周年サイトを
ご覧ください

相互会社形態を創業以来堅持する国内で唯一の生命保険会社として、
次代の相互扶助である「THE MUTUAL」を掲げ、
共感・つながり・支えあいをベースとした相互組織を目指す

2023年度上半期報告のポイント

1 2023年度上半期は増収・大幅増益

保険料等収入は増加

- 富国生命、フコクしんらい生命合算の保険料等収入は、前年同期比1.8%増加
- フコクしんらい生命は、利率更改型一時払終身保険の販売が好調に推移し、同39.4%増と大幅に増加

基礎利益は前年同期比3.9倍

- 基礎利益は、前年同期比293.5%増と大幅に増加
- 新型コロナに係る給付金等の大幅な減少により、保険関係損益は大幅に回復
- 為替ヘッジコストの大幅な削減などにより、基礎利益上の運用収支は高水準を維持し、利差益は増加

2 新契約年換算保険料は大幅増加

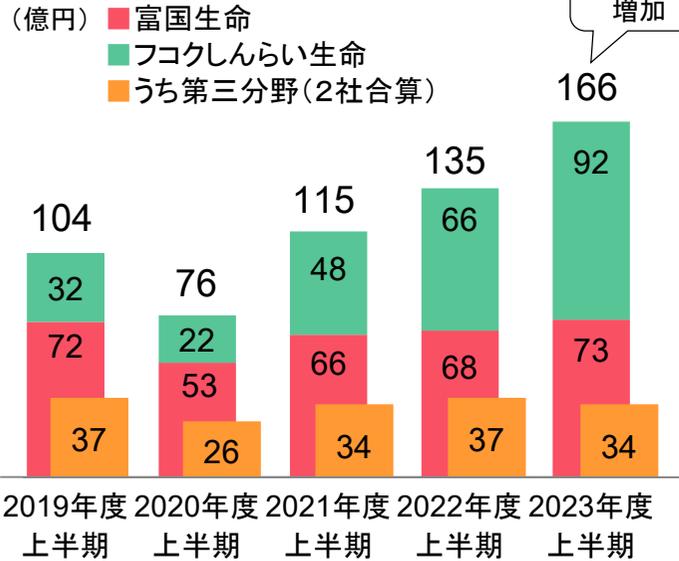
- 新契約年換算保険料は2社ともに増加、合算で同22.9%増と3年連続で大幅に増加
- 学資保険やフコクしんらい生命の利率更改型一時払終身保険の販売が好調

3 引き続き高い健全性を維持

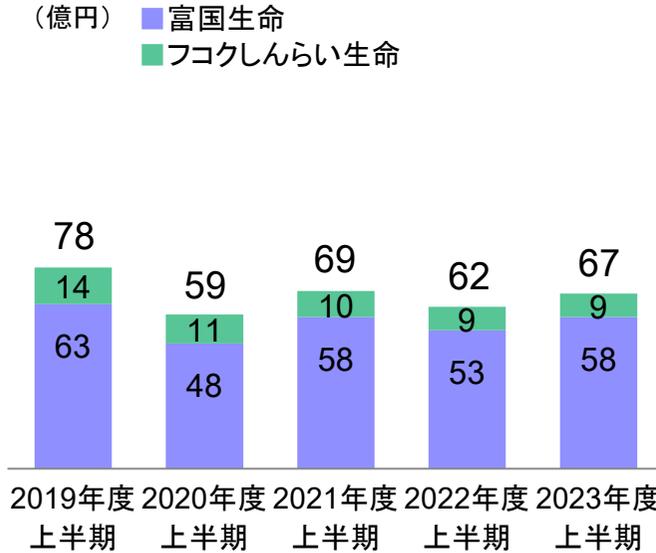
- 連結ソルベンシー・マージン比率は1,093.5%と前年度末比78.4ポイント低下したものの、引き続き高い水準を維持

保険業績の状況(2社合算) 新契約・解約失効

新契約年換算保険料



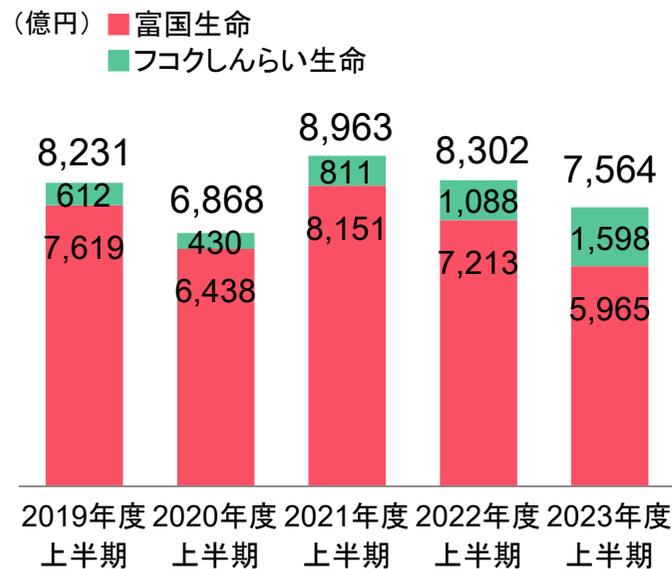
解約失効年換算保険料



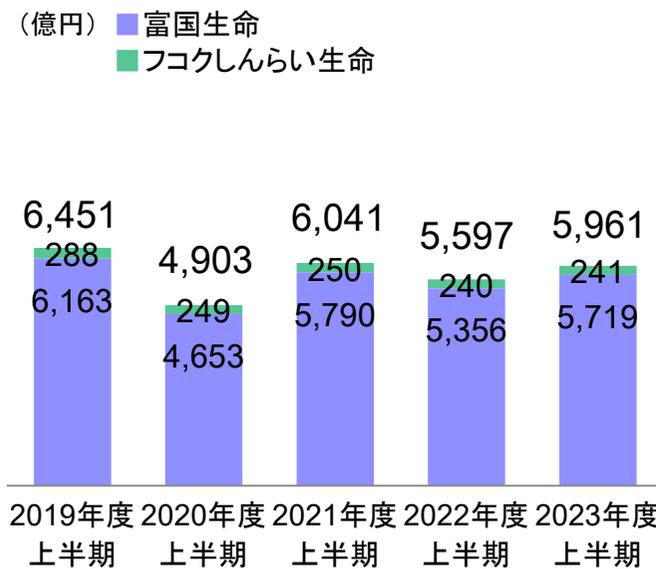
※個人保険と個人年金保険の合計

- 新契約年換算保険料は2社ともに増加、前年同期比22.9%増と3年連続で大幅に増加
- 学資保険およびフコクしんらい生命の利率更改型一時払終身保険の販売好調が主な要因
- 学資保険の販売増は、国内金利の上昇を捉えた予定利率の引上げ(保険料の引下げ)が奏功

新契約高



解約失効高



- 新契約高は、前年同期比8.9%減少
- フコクしんらい生命は、同46.8%増と大幅に増加

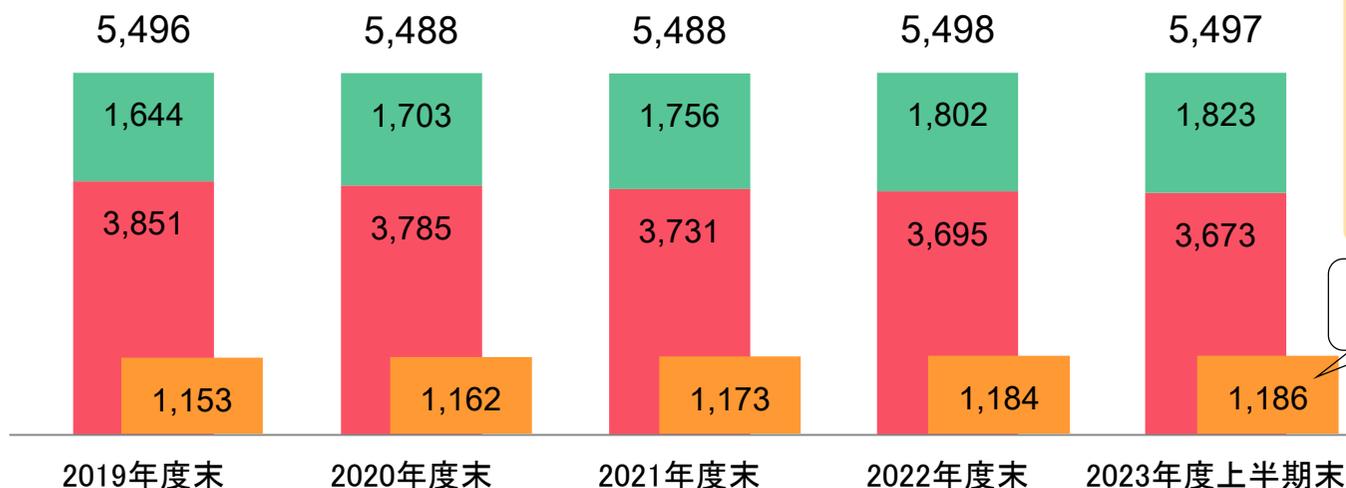
保険業績の状況(2社合算) 保有契約

保有契約年換算保険料

※個人保険と個人年金保険の合計

(億円)

■ 富国生命 ■ フコクしんらい生命
■ うち第三分野(2社合算)



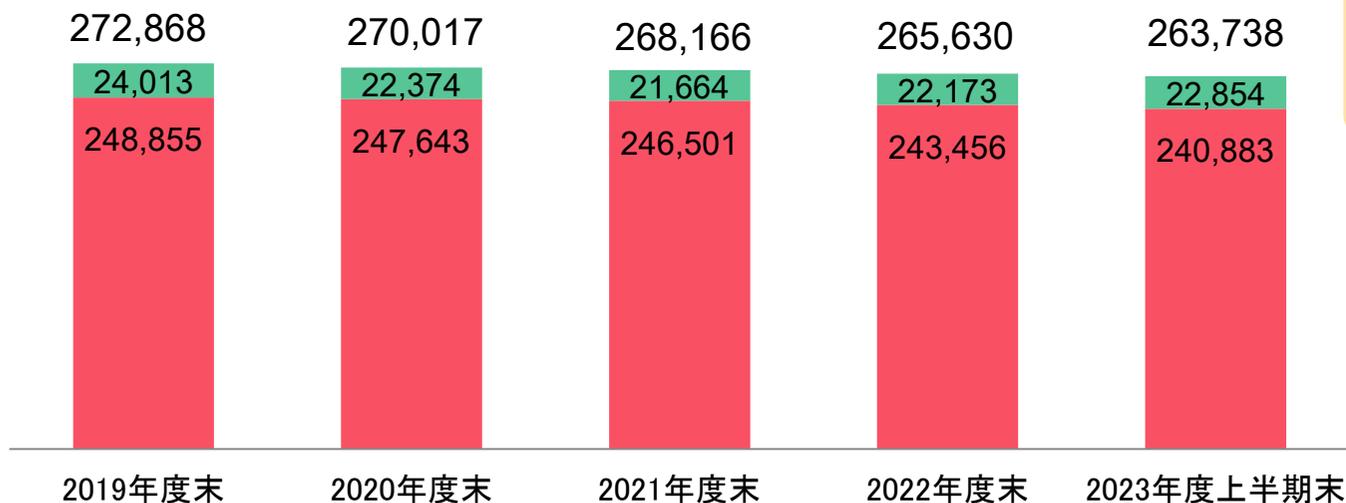
- 保有契約年換算保険料は、ほぼ横ばい
- フコクしんらい生命は、前年度末比1.1%増加
- 第三分野の保有契約年換算保険料は、同0.2%増加、2003年度の開示以来プラス伸展を継続

前年度末比
0.2%
増加

保有契約高

(億円)

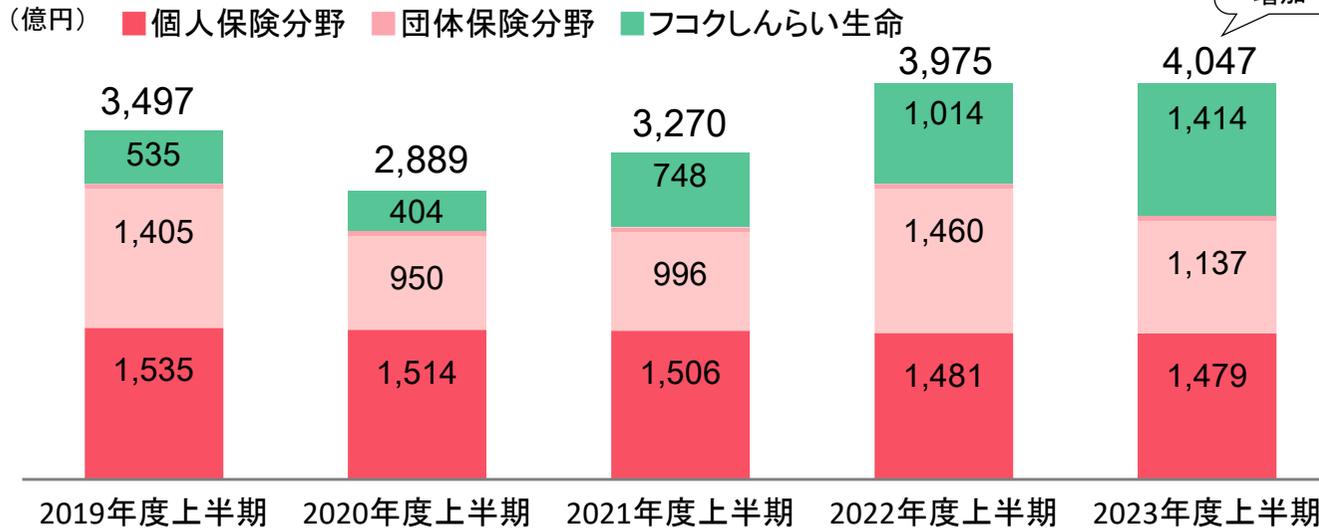
■ 富国生命 ■ フコクしんらい生命



- 保有契約高は、前年度末比0.7%減少
- フコクしんらい生命は、同3.1%増加
- 引き続き反転増加に向けて取り組む

保険料等収入、金融機関窓販の状況

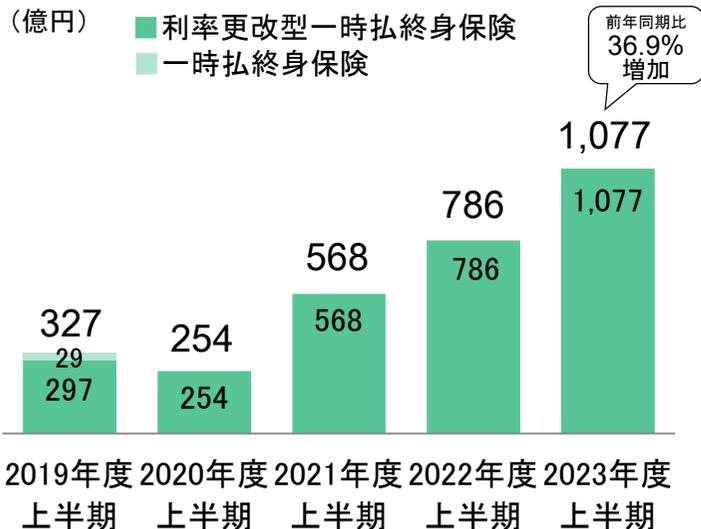
保険料等収入(富国生命、フコクしんらい生命合算)



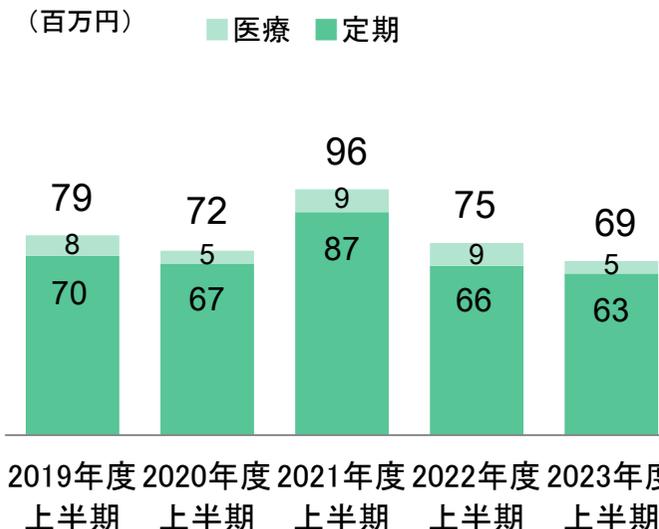
- 保険料等収入は、前年同期比1.8%増加
- フコクしんらい生命は利率更改型一時払終身保険が好調に推移し、同39.4%増と大幅に増加

金融機関による保険販売実績(フコクしんらい生命)

【貯蓄性一時払商品の販売実績(収入保険料)】



【保障型商品の販売実績(年換算保険料)】



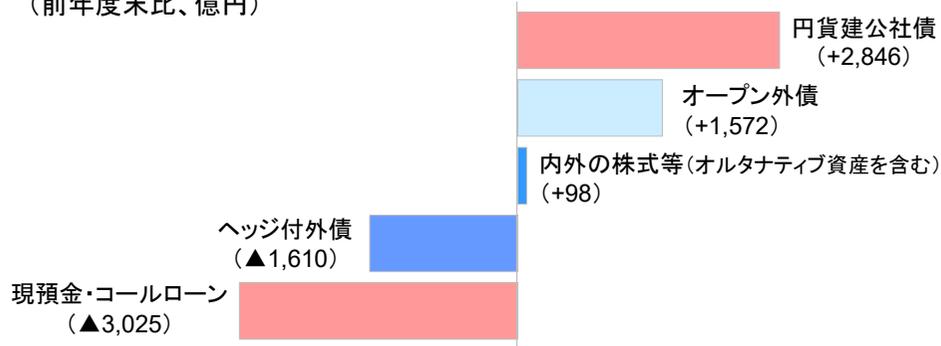
- 貯蓄性一時払商品の販売実績は、利率更改型一時払終身保険が好調に推移し、前年同期比36.9%増と3年連続で大幅に増加

資産運用の状況(富国生命単体)

- 国内の超長期金利が上昇したことから、超長期国債を中心に資金を配分する一方、為替ヘッジコスト率が高止まりするなか、ヘッジ付外債は収益性の改善が見込めなくなったため、売却およびオープン外債化により、残高をゼロに
- 自己資本の充実度を踏まえたリスク・テイク戦略に基づき、プライベート・エイクイティ・ファンド等のオルタナティブ資産と海外の長期金利の大幅な上昇により投資妙味が増したオープン外債を積み増し
- 基礎利益上の運用収支は、ヘッジ付外債の大規模な削減により、利息及び配当金等収入が減少したものの、為替ヘッジコストを大幅に削減できたことなどから、前年同期比概ね横ばい

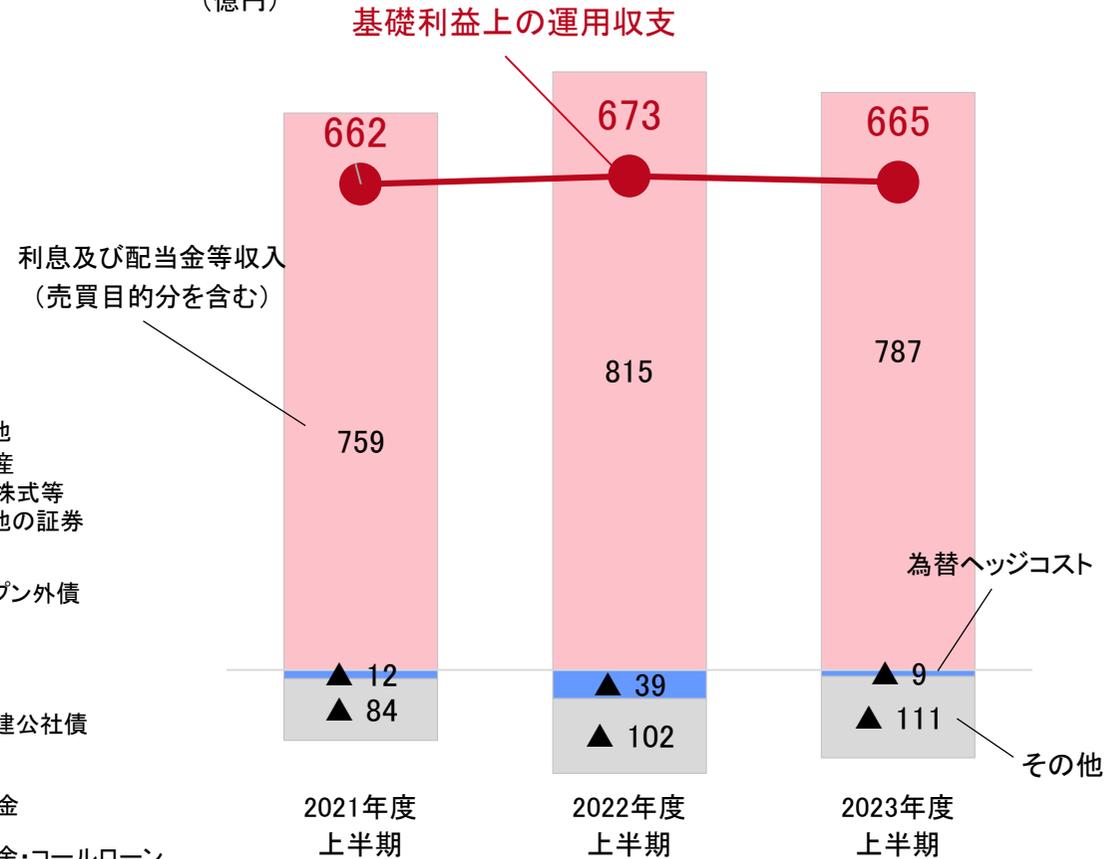
主な運用資産の帳簿価額残高の増減額

(前年度末比、億円)

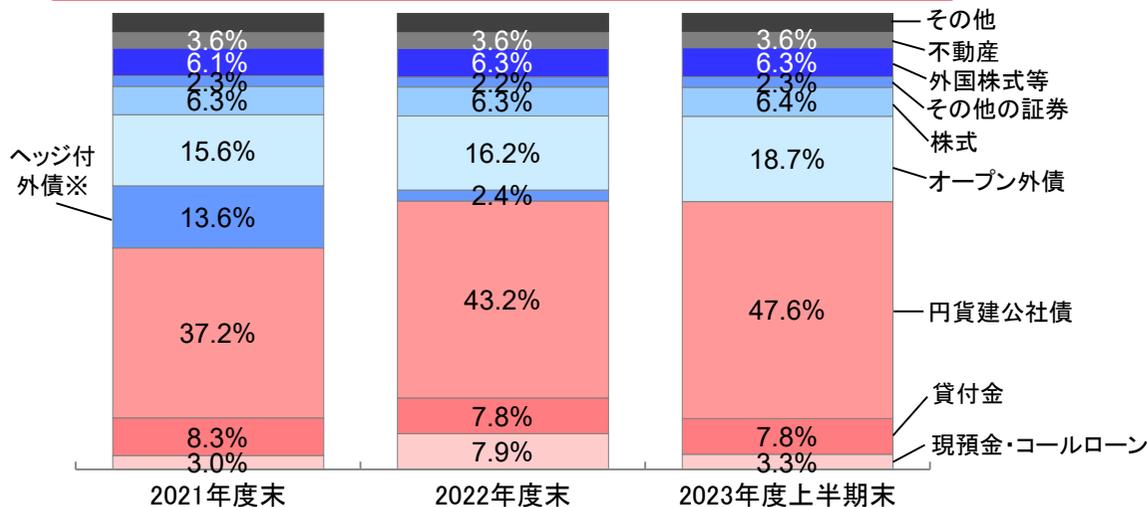


基礎利益上の運用収支※の状況

(億円)



一般勘定資産の資産構成比(帳簿価額ベース)

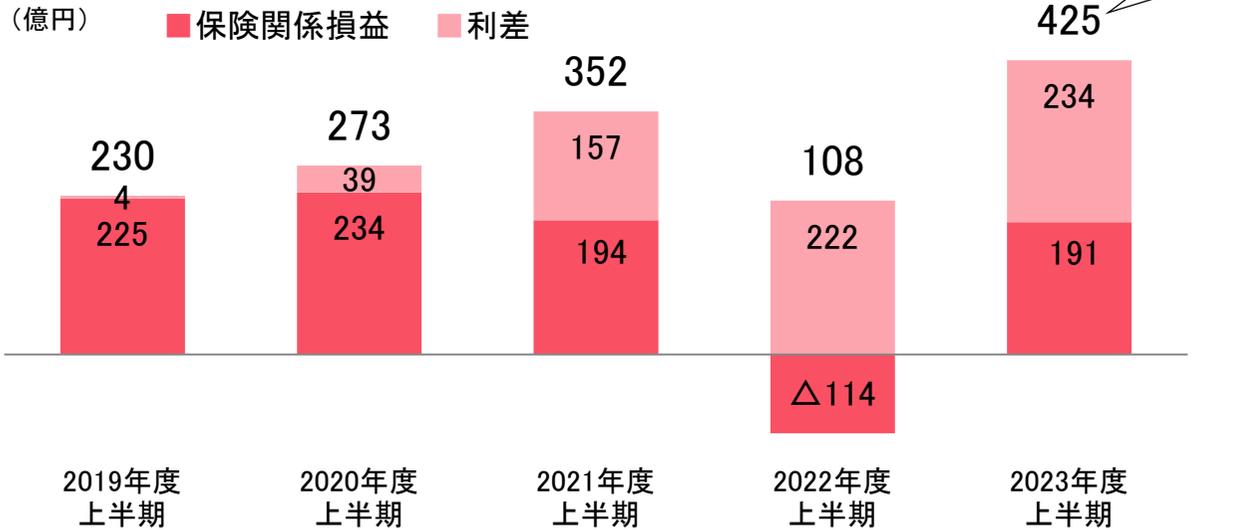


※2023年度上半期末は残高ゼロ

※2021年度は比較可能な調整値

基礎利益、有価証券・不動産の含み損益の状況

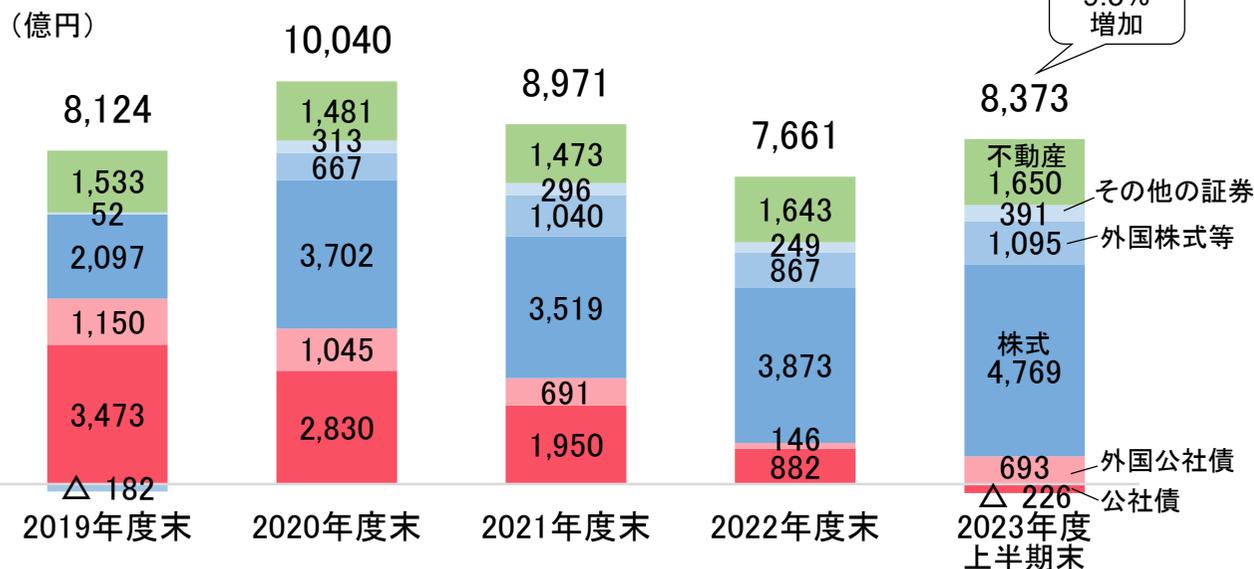
基礎利益(富国生命、フコクしんらい生命合算)



- 基礎利益は、前年同期比293.5%増と大幅に増加
- 新型コロナに係る給付金等の大幅な減少により、保険関係損益は191億円に回復
- 為替ヘッジコストの大幅な削減などにより、基礎利益上の運用収支は高水準を維持し、利差益は同5.2%増加

※2021年度以前の利差は、2022年度以降と同一の基準で算出している

有価証券・不動産の含み損益(富国生命単体)

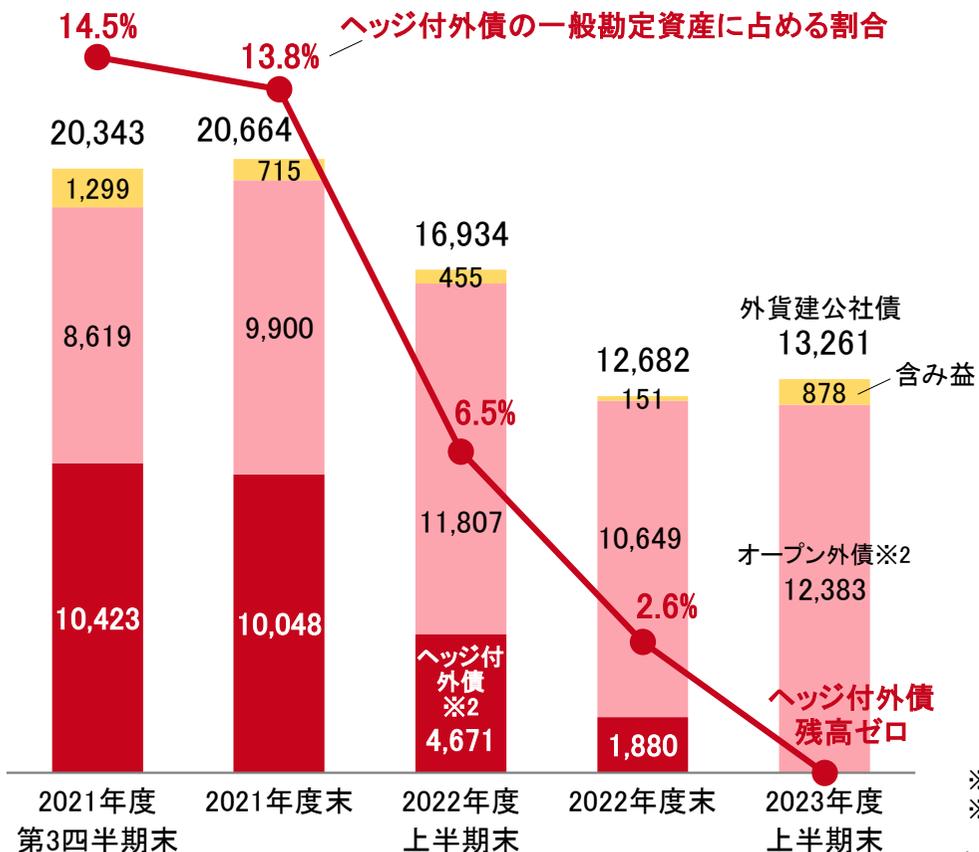


- 有価証券・不動産の含み益は、前年度末比9.3%増加の8,373億円
- 国内金利の上昇により公社債の含み益が含み損に転じたものの、海外金利上昇の影響を円安効果が上回り、外国公社債の含み益は増加、内外の株価の上昇により株式や外国株式等の含み益も増加

外貨建公社債(ヘッジ付外債・オープン外債)運用の状況

- 海外の主要中央銀行の金融引締めによる内外金利差の拡大に伴い、為替ヘッジコスト率の上昇が見込まれたため、2022年1月より、ヘッジ付外債について、売却および為替ヘッジを外すオープン外債化による削減を開始
- その後、想定を超える為替ヘッジコスト率の上昇に機動的に対応し、ヘッジ付外債の削減計画を順次引き上げ、2023年度上半期には残高をゼロにし、累計削減額は1兆423億円に
- この間、オープン外債については、海外金利上昇による内外金利差拡大とその高止まり見通しから、極端な円高リスクは高くないと判断、オープン外債化と新規買入れにより3,763億円積み増し
- この結果、当上半期は、為替ヘッジコスト率が上昇するなかでも、ヘッジコストを前年比削減。また、オープン外債の積増しにより、海外金利上昇の影響を円安効果が上回り、含み益は前年度末比増加

外貨建公社債※1の残高の状況



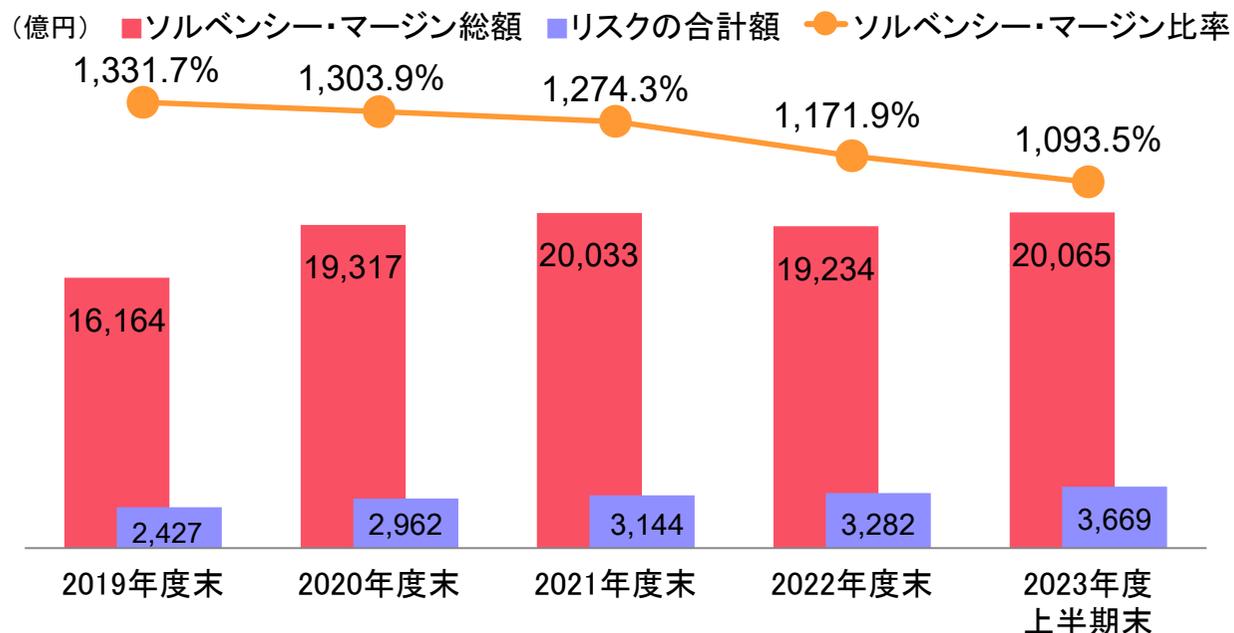
外貨建公社債※1に係る損益の状況

	2022年度 上半期	2022年度 下半期	2023年度 上半期
利息収入	281	218	214
為替ヘッジコスト	△ 39	△ 67	△ 9
売却損益	△ 14	△ 193	△ 135
含み益の増減額	△ 259	△ 303	726

※1 外貨建公社債は、その他有価証券の残高および損益を集計
 ※2 ヘッジ付外債およびオープン外債の残高は帳簿価額

健全性の状況

連結ソルベンシー・マージン比率



- 連結ソルベンシー・マージン比率は、前年度末比78.4ポイント低下の1,093.5%
- 劣後債の償還※や国内金利の上昇等によるその他有価証券評価差額金の減少に加え、オープン外債の積増しによる為替リスクの増加が主な低下要因

※9月に米ドル建永久劣後債を償還、その再調達を同劣後債の発行により11月に実施済

【ご参考】経済価値ベースのソルベンシー比率(ESR)(連結)

	2019年度末	2020年度末	2021年度末	2022年度末	2023年度上半期末 (速報値)
ESR	229.5%	237.3%	241.7%	245.2%	241.8%

- 経済価値ベースのソルベンシー比率(ESR)(連結)は、前年度末比3.4ポイント低下の241.8%

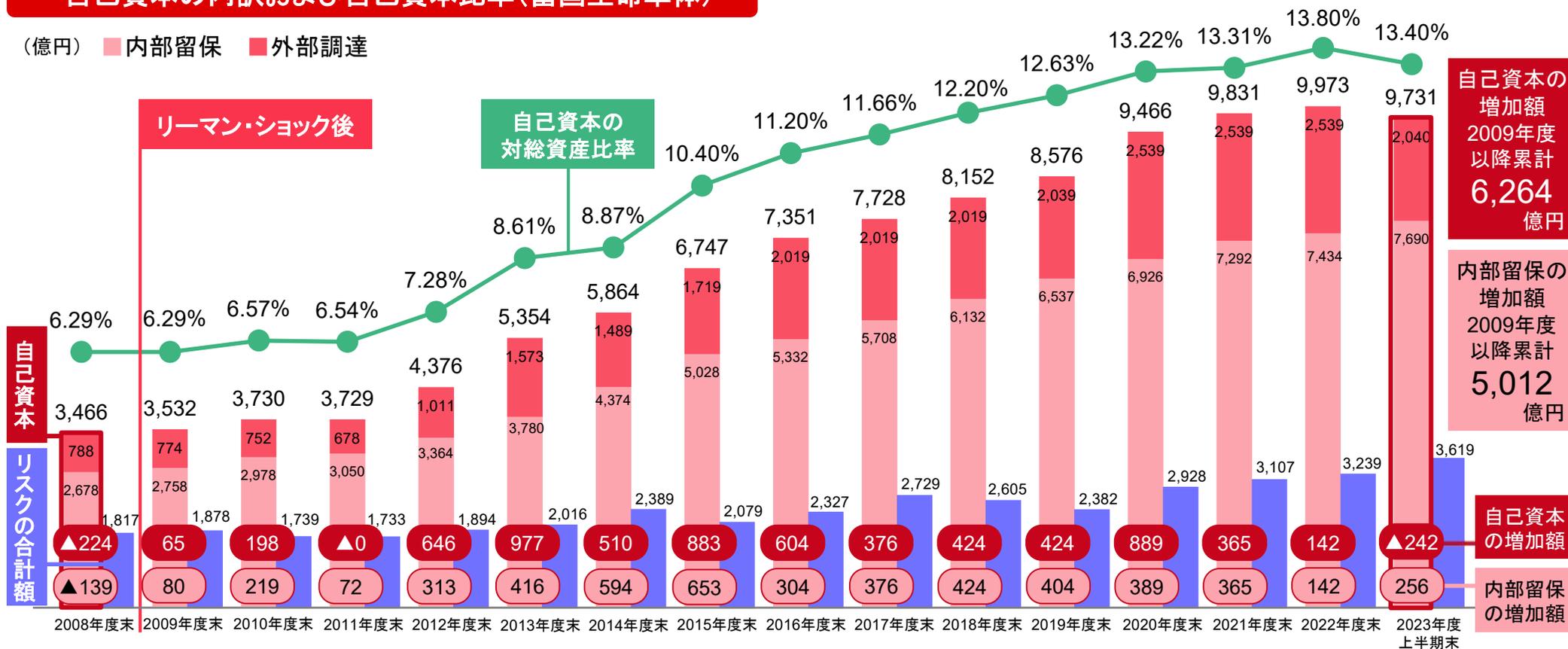
(注)・ESRとは、経済価値ベースの自己資本のリスク(信頼水準99.5%、税効果反映後)に対する比率である。当社では、同指標の経営への活用において先行している欧州の手法に準拠したものを、統合的リスク管理(ERM)に用いている

・2023年度上半期末(速報値)は、保険負債やリスクの一部について簡便法を用いて計算している

オンバランスの自己資本強化と統合的リスク管理の推進

- いかなることがあってもゆるがない強固な財務基盤を構築すべく、経常利益による内部留保の積上げを第一義とし、適時、外部調達を行うことで自己資本を強化
- 劣後債の償還(9月)により外部調達が498億円減少したが、劣後債の発行(11月)により751億円の再調達を実施済
- 強固な資本基盤による高い健全性が評価され、S&Pとフィッチが当社の保険金支払能力に係る格付けを「A+」に格上げ
- 統合的リスク管理(ERM)を着実に進め、保険金等の確実な支払いと配当還元の充実を通じ、ご契約者に安心・満足を提供

自己資本の内訳および自己資本比率(富国生命単体)



□ 償却・償還済

【ご参考】主要業績(2社合算、富国生命、フコクしんらい生命)

	2019年度上半期	2020年度上半期	2021年度上半期	2022年度上半期		2023年度上半期	
					増減率/pt		増減率/pt
新契約年換算保険料 ^(※1)	104億円	76億円	115億円	135億円	17.3%	166億円	22.9%
富国生命	72億円	53億円	66億円	68億円	3.8%	73億円	7.3%
フコクしんらい生命	32億円	22億円	48億円	66億円	35.7%	92億円	39.1%
新契約高 ^(※1)	8,231億円	6,868億円	8,963億円	8,302億円	▲ 7.4%	7,564億円	▲ 8.9%
富国生命	7,619億円	6,438億円	8,151億円	7,213億円	▲ 11.5%	5,965億円	▲ 17.3%
フコクしんらい生命	612億円	430億円	811億円	1,088億円	34.2%	1,598億円	46.8%
保険料等収入	3,497億円	2,889億円	3,270億円	3,975億円	21.6%	4,047億円	1.8%
富国生命	2,961億円	2,484億円	2,521億円	2,960億円	17.4%	2,633億円	▲ 11.1%
フコクしんらい生命	535億円	404億円	748億円	1,014億円	35.6%	1,414億円	39.4%
基礎利益 ^(※2)	230億円	273億円	352億円	108億円	▲ 69.3%	425億円	293.5%
富国生命	232億円	280億円	361億円	113億円	▲ 68.6%	397億円	250.3%
保険関係損益	241億円	253億円	215億円	▲ 93億円	—	188億円	—
利差	▲ 9億円	27億円	146億円	206億円	41.7%	208億円	0.9%
フコクしんらい生命	▲ 1億円	▲ 6億円	▲ 9億円	▲ 5億円	—	28億円	—
	2019年度末	2020年度末	2021年度末	2022年度末		2023年度上半期末	
					増減率/pt		増減率/pt
保有契約年換算保険料 ^(※1)	5,496億円	5,488億円	5,488億円	5,498億円	0.2%	5,497億円	▲ 0.0%
富国生命	3,851億円	3,785億円	3,731億円	3,695億円	▲ 1.0%	3,673億円	▲ 0.6%
フコクしんらい生命	1,644億円	1,703億円	1,756億円	1,802億円	2.6%	1,823億円	1.1%
保有契約高 ^(※1)	27兆2,868億円	27兆17億円	26兆8,166億円	26兆5,630億円	▲ 0.9%	26兆3,738億円	▲ 0.7%
富国生命	24兆8,855億円	24兆7,643億円	24兆6,501億円	24兆3,456億円	▲ 1.2%	24兆883億円	▲ 1.1%
フコクしんらい生命	2兆4,013億円	2兆2,374億円	2兆1,664億円	2兆2,173億円	2.3%	2兆2,854億円	3.1%
連結ソルベンシー・マージン比率	1,331.7%	1,303.9%	1,274.3%	1,171.9%	▲ 102.4pt	1,093.5%	▲ 78.4pt
富国生命	1,290.8%	1,261.6%	1,234.2%	1,133.8%	▲ 100.4pt	1,056.4%	▲ 77.4pt
フコクしんらい生命	968.1%	1,084.9%	1,117.1%	1,068.9%	▲ 48.2pt	1,006.8%	▲ 62.1pt

※1 個人保険と個人年金保険の合計

※2 2021年度以前の基礎利益は、2022年度以降と同一の基準で算出している